WEB版動画講習会(オンデマンド)のご案内

2026.5.1

※購入後、一定期間繰り返し視聴できます
※建築CPD制度の認定プログラムです

一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

「2018年版冷間成形角鋼管設計・施工マニュアル」(設計編・施工編)

「2018年版冷間成形角鋼管設計・施工マニュアル」の講習会

規準　S造

受講料	設計編:5,500円(税込)(105分) 施工編:5,500円(税込)(103分)
テキスト	「2018年版冷間成形角鋼管設計・施工マニュアル」 6,050円(税込)／発行:日本建築センター
視聴期間	14日
プログラム	
設計編	動画1:(29分)冷間成形角鋼管設計・施工マニュアルの改訂概要 動画1:(76分)冷間成形角鋼管設計・施工マニュアルの設計編
施工編	動画2:(29分)冷間成形角鋼管設計・施工マニュアルの改訂概要 動画1:(74分)冷間成形角鋼管設計・施工マニュアルの施工編

「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」<指針の概要、計算例解説>

「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」の講習会

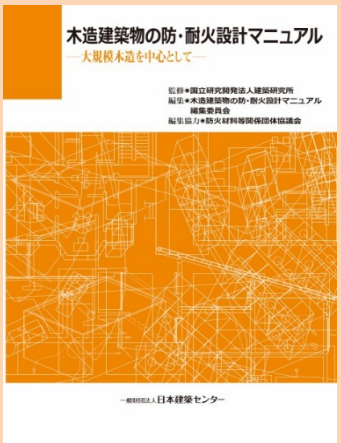
規準　構造

受講料	12,100円(税込)(230分)
テキスト	「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」 7,700円(税込)／発行:日本建築センター
視聴期間	14日
プログラム	
動画1:(54分)	第1章　総説 第2章　地震力
動画2:(79分)	第3章　設備機器の耐震支持 第4章　アンカーボルトの許容耐力と選定 第5章　建築設備の基礎の設計
動画3:(38分)	第6章　配管等の耐震対策
動画4:(59分)	計算例の概要(機械設備・電気設備)

「木造建築物の防・耐火設計マニュアル」
<防・耐火設計、設計事例及びよくある質問と回答>

「木造建築物の防・耐火設計マニュアル」の講習会

規準　防耐火



受講料	8,800円(税込)(173分)
テキスト	「木造建築物の防・耐火設計マニュアル」 7,150円(税込)／発行:日本建築センター
視聴期間	14日
プログラム	
動画1:(35分)	第1～2章「木造建築物の防・耐火設計マニュアル」の概要
動画2:(59分)	第3章　木造建築物の主要構造部、各部位の防・耐火設計(その1)
動画3:(37分)	第3章　木造建築物の主要構造部、各部位の防・耐火設計(その2)
動画4:(21分)	第4章　設計事例
動画5:(21分)	よくある質問と回答

構造

RC造

構造設計シリーズ／RC造編【許容応力度計算】(前編・中編・後編)

＜RC造の許容応力度計算の理論解説と演習＞

受講料　前　編:12,100円(税込)(151分)
　　中　編:12,100円(税込)(152分)
　　後　編:12,100円(税込)(218分)

テキスト　「ひとりで学べる　RC造建築物の構造計算演習帳【許容応力度計算編】」
4,950円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム

前　編	動画1:(10分)	講義・演習の進め方＜序章＞
	動画2:(45分)	一般事項＜1.1～1.3＞
	動画3:(19分)	準備計算＜2.1＞
	動画4:(41分)	準備計算＜2.1～2.4＞
	動画5:(36分)	準備計算＜2.5＞
中　編	動画1:(46分)	鉛直荷重時応力の算定＜第3章＞
	動画2:(39分)	水平荷重時応力の算定＜4.1～4.5＞
	動画3:(33分)	水平荷重時応力の算定＜4.6～4.7＞
	動画4:(16分)	水平荷重時応力の算定＜4.8＞
	動画5:(18分)	水平荷重時応力の算定＜4.9～4.10＞
後　編	動画1:(49分)	大梁の断面算定＜5.1～5.2＞
	動画2:(51分)	大梁の断面算定＜5.3～5.4＞
	動画3:(46分)	柱の断面算定＜6.1＞
	動画4:(36分)	柱の断面算定＜6.2～6.3＞
	動画5:(36分)	柱梁接合部の設計＜第7章＞

構造

RC造

構造設計シリーズ／RC造編【保有水平耐力計算】(前編・後編)

＜RC造の保有水平耐力計算の理論解説と演習＞

受講料　前　編:13,200円(税込)(198分)
　　後　編:13,200円(税込)(179分)

テキスト　「ひとりで学べる　RC造建築物の構造計算演習帳【保有水平耐力計算編】」
4,180円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム

前　編	動画1:(35分)	講義・演習の進め方、2次設計とは
	動画2:(48分)	部材耐力等特性値の計算＜3.1～3.4.1＞
	動画3:(28分)	部材耐力等特性値の計算＜3.4.2＞
	動画4:(39分)	崩壊メカニズムと保有水平耐力＜4.1～4.2＞
	動画5:(48分)	崩壊メカニズムと保有水平耐力＜4.3＞
後　編	動画1:(39分)	必要保有水平耐力の算出＜5.1～5.2＞
	動画2:(42分)	必要保有水平耐力の算出＜5.3～5.4＞ 保有水平耐力の算出と保証設計＜6.1＞
	動画3:(15分)	保有水平耐力の算出と保証設計＜6.2.1＞
	動画4:(51分)	保有水平耐力の算出と保証設計＜6.2.2＞
	動画5:(32分)	保有水平耐力の算出と保証設計＜6.2.3＞

構造

木造

構造設計シリーズ／木造の壁量設計演習

前編【建築基準法・仕様規定による設計】／ 後編【品確法・性能表示による設計】

2025年の法改正に対応した木造軸組構法住宅の壁量、N値、床倍率の計算演習の講習会

受講料　前　編：16,500円（税込）（323分）
　　後　編：11,000円（税込）（112分）

テキスト　「ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳」（第4版）
　　4,950円（税込）／発行：日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム

前　編
- 動画1：（55分）　基準法/壁量設計とは
- 動画2：（118分）　基準法/地震力、風圧力に対する必要壁量の算定、存在壁量の算定、演習1～5
- 動画3：（27分）　基準法/耐力壁のバランス検定（四分割法）、演習6
- 動画4：（66分）　基準法/接合部の設計（N値計算）、演習7
- 動画5：（57分）　基準法/水平構面の仕様ほか、演習8

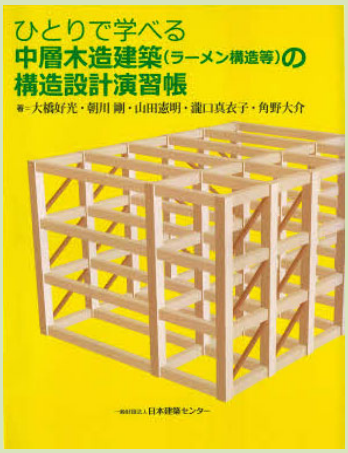
後　編
- 動画1：（25分）　性能表示/壁量設計、演習9
- 動画2：（72分）　性能表示/存在床倍率の確認、演習10～13
- 動画3：（15分）　性能表示/横架材接合部の確認ほか、演習14

構造

木造

構造設計シリーズ／中層木造建築の構造計算演習（前編・後編）

＜3階建て木造ラーメン構造の計算演習＞



受講料　前　編：14,300円（税込）（237分）
　　後　編：14,300円（税込）（218分）

テキスト　「ひとりで学べる中層木造建築（ラーメン構造等）の構造設計演習帳」
　　4,950円（税込）／発行：日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム

前　編
- 動画1：（84分）　序章、第1章　中大規模木造設計の基本
- 動画2：（21分）　第2章　モデル建物の構造設計概要
- 動画3：（44分）　第3章　材料
- 動画4：（12分）　第4章　荷重・外力
- 動画5：（76分）　第5章　仮定断面の算定

後　編
- 動画1：（58分）　第6章　応力解析
- 動画2：（47分）　第7章　断面検定（柱、大梁）
- 動画3：（46分）　第7章　断面検定（柱梁接合部、ブレース接合部）
- 動画4：（50分）　第7章　断面検定（水平構面等）
- 動画5：（17分）　第8章　層間変形角・剛性率・偏心率、第9章　基礎の設計

構造設計シリーズ／S造編（基礎Ⅰコース）（前編・後編）

<S造の許容応力度計算の理論解説と演習>

S造の計算理論と設計実務について講義と演習で学べる講習会

受講料	前　編：14,300円（税込）（263分）
	後　編：14,300円（税込）（316分）
テキスト	「わかりやすい鉄骨の構造設計　第五版」／発行：技報堂出版
	4,620円（税込）
視聴期間	30日
プログラム	

前　編	動画1：（51分）	鋼材・鋼構造の特徴と荷重・応力（その1）
	動画2：（63分）	鋼材・鋼構造の特徴と荷重・応力（その2）
	動画3：（77分）	鋼構造部材の性状と設計法： 基準強度F値、圧縮材の曲げ座屈と許容圧縮応力度
	動画4：（52分）	梁の横座屈と許容曲げ応力度
	動画5：（20分）	板要素の局部座屈と幅厚比制限
後　編	動画1：（61分）	鋼材の特性、部材の接合部、継手の考え方とその設計法
	動画2：（97分）	部材の接合部、継手の考え方とその設計法：ボルト接合
	動画3：（72分）	部材の接合部、継手の考え方とその設計法：溶接接合
	動画4：（41分）	筋かい接合部の許容応力度設計
	動画5：（45分）	梁継手の設計（許容応力度設計）

構造

S造

構造設計シリーズ／S造編（基礎Ⅱコース）（前編・後編）

<S造の保有水平耐力計算の理論解説と演習>

S造の計算理論と設計実務について講義と演習で学べる講習会

受講料	前　編：14,300円（税込）（199分）
	後　編：14,300円（税込）（268分）
テキスト	「わかりやすい鉄骨の構造設計　第五版」／発行：技報堂出版
	4,620円（税込）
視聴期間	30日
プログラム	

前　編	動画1：（34分）	耐震構造設計の考え方
	動画2：（57分）	保有水平耐力と必要保有水平耐力
	動画3：（52分）	保有水平耐力計算の基本
	動画4：（54分）	略算法による保有水平耐力計算、仕口パネルの検討
後　編	動画1：（44分）	部材の塑性変形性能確保の考え方（1）
	動画2：（67分）	部材の塑性変形性能確保の考え方（2）
	動画3：（26分）	継手の設計
	動画4：（66分）	継手の設計（継手の保有耐力接合の検討）
	動画5：（65分）	柱脚の設計

構造

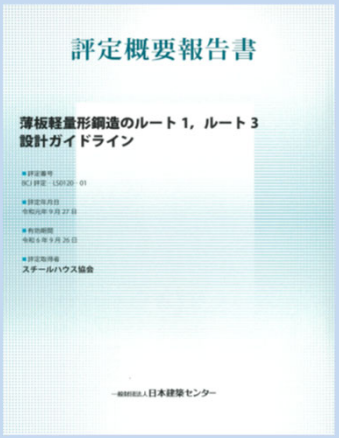
S造

構造

S造

薄板軽量形鋼造(スチールハウス)の構造設計ガイドライン

<ルート3の構造計算演習付き>



共　催　スチールハウス協会

受講料　5,000円(税込)(187分)

資　料　「評定概要報告書 薄板軽量形鋼造のルート1、ルート3設計ガイドライン」

視聴期間　14日

プログラム

動画1:(57分)　講習会の趣旨説明
1.スチールハウスのメリット及び建設事例
2.スチールハウスの技術評価の内容
3.薄板軽量形鋼造における保有耐力接合の概要

動画2:(71分)　4.薄板軽量形鋼造(ルート1、ルート3)　設計ガイドライン

動画3:(30分)　5.ルート3による3階建て設計例、
地震応答解析結果の紹介

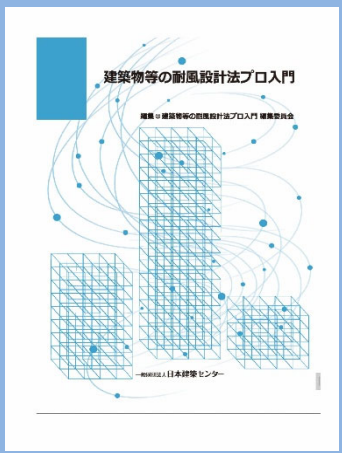
動画4:(29分)　6.ルート3保有耐力接合の設計演習

構造

耐風

「建築物等の耐風設計法プロ入門」

「建築物等の耐風設計法プロ入門」の発行に合わせた講習会



受講料　22,000円(税込)(399分)

テキスト　「建築物等の耐風設計法プロ入門」
6,600円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム

動画1:(94分)　1.風圧力による建築物の被害事例
2.耐風設計の手順と要点
3.風圧・風力係数

動画2:(82分)　4.外装材等の耐風設計
5.建築物の付設物の耐風設計

動画3:(92分)　6.低層建築物・大スパン建物の耐風設計
7.高層建築物の耐風設計

動画4:(85分)　8.塔状構造物の耐風設計
9.免震建築物の耐風設計

動画5:(46分)　10.風洞実験
11.耐風設計における数値流体解析(CFD)の利用

「2018年版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 －セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法－」

構造　基礎

共　催　(一財)ベターリビング

受講料　12,100円(税込)(329分)

テキスト　2018年版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 －セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法－
11,000円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム
- 動画1:(39分)　改良地盤指針の改訂内容、その他の地盤改良
- 動画2:(141分)　改良地盤の設計(一般建物)
- 動画3:(20分)　改良地盤の設計(戸建て住宅等)
- 動画4:(85分)　改良地盤の施工(一般建物)(戸建て住宅等)
- 動画5:(44分)　設計例題

「改訂版　改良地盤の設計及び品質管理における実務上のポイント」

「2018年版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」に寄せられた質問と回答を解説する講習会

構造　基礎

共　催　(一財)ベターリビング

受講料　8,800円(税込)(153分)

テキスト　「改訂版　改良地盤の設計及び品質管理における実務上のポイント」
4,950円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　14日

プログラム
- 動画1:(68分)　本書について
- 1.共通編　Q&A(前半)(後半)
- 動画2:(43分)　2.一般建物編　Q&A
- 3.戸建て・小規模建築物編　Q&A
- 動画3:(42分)　4.擁壁編　Q&A
- 5.施工編　Q&A
- 6.品質管理編　Q&A

「構造計算適合性判定を踏まえた　建築物の構造設計実務のポイント」

「構造計算適合性判定を踏まえた建築物の構造設計実務のポイント」の講習会

構造　実務

受講料　11,000円(税込)(268分)

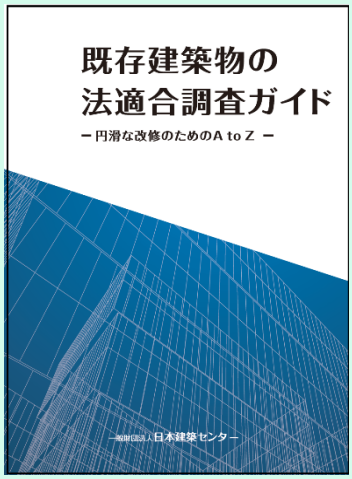
テキスト　「構造計算適合性判定を踏まえた　建築物の構造設計実務のポイント」
4,620円(税込)／発行:日本建築センター

視聴期間　30日

プログラム
- 動画1:(51分)　第1章　モデル化と解析結果の妥当性
- 動画2:(42分)　第2章　保有水平耐力計算における計算条件とDs関連事項の評価
- 動画3:(32分)　第3章　保有水平耐力計算に関する部材の取り扱い
- 動画4:(85分)　第4章　部材設計と応力伝達
- 動画5:(58分)　第5章　法解釈と運用
- 第6章　構造計算書と構造図
- 第7章　免震部材の接合部および取付け躯体設計上の参考点(参考)

「既存建築物の法適合調査ガイド」の講習会シリーズ

「既存建築物の法適合調査ガイド　-円滑な改修のためのA to Z-」
の発刊にあわせた講習会



テキスト　「既存建築物の法適合調査ガイド
-円滑な改修のためのA to Z-」

5,500円(税込)／発行：日本建築センター

近年、膨大な建築ストックを長期活用するための取り組みが求められています。それらの改修を計画する場合、建築確認申請の要否に関わらず建築関係法令への適合性について必ず検証しなければなりません。

今後、建築ストックの長期活用のための取り組みが広がっていくことを想定すると、法令順守のための知識を深化させ、また個々の改修事例でノウハウを蓄積していくことが求められます。

日本建築センターがこれまで取り組んでまいりました既存建築物の法適合状況調査の経験を踏まえ、その実務についてご説明します。複雑かつ難解な既存建築物の改修に対する法規制を分かりやすく解説します。

①「既存建築物の法適合調査ガイド」の解説

「既存建築物の法適合調査ガイド」の解説の入門編

受講料　5,500円(税込)(126分)

視聴期間　14日

プログラム
動画1：(87分)第1部　既存建築物に対する法の適用関係について
動画2：(39分)第2部　法適合調査の実務

②「既存建築物の法適合調査ガイド」実務編(その1)：法適合調査のフレームワーク

法適合調査のフレームワークについて、模擬事例を交えながら具体的に解説します

受講料　4,400円(税込)(93分)

視聴期間　14日

プログラム
動画1：(63分)　既存建築物の法適合調査のフレームワーク
動画2：(30分)　模擬事例

③「既存建築物の法適合調査ガイド」実務編(その2)：情報収集とフレームワークの再考

情報収集とフレームワークの再考について、模擬事例を交えながら具体的に解説します

受講料　4,400円(税込)(87分)

視聴期間　14日

プログラム
動画1：(24分)　1. 法適合調査のフレームワークのおさらい
動画2：(48分)　2. 情報収集と必要な図書等
動画3：(15分)　3. フレームワークの再考

④「既存建築物の法適合調査ガイド」実務編(その3)：情報分析と法の適用関係の整理

情報分析と法の適用関係の整理について、模擬事例を交えながら具体的に解説します

受講料　4,400円(税込)(87分)

視聴期間　14日

プログラム
動画1：(42分)　1. これまでのセミナーの振り返り
　　2. 既存図書の情報分析
動画2：(45分)　3. 法の適用関係の整理
　　4. ケーススタディ

■お問合せ先
WEB版動画講習会(内容に関して)　(一財)日本建築センター情報事業部　TEL：03－5283－0477
動画システム(配信・決済方法に関して)　(公財)建築技術教育普及センター　MAIL：jsk-cpd@jaeic.or.jp